

'90世界グランプリロードレースシリーズ

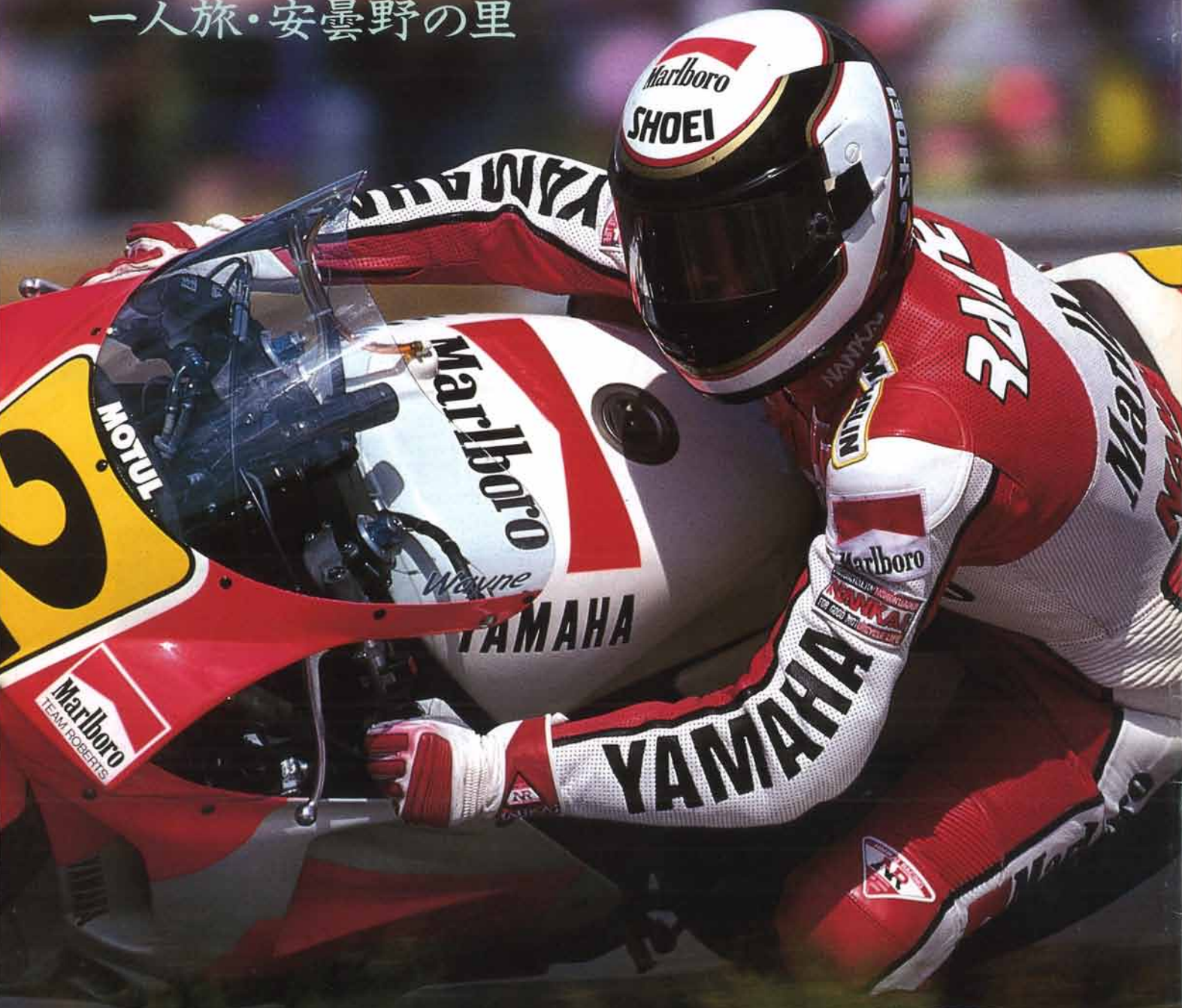
YZR500 & W・レイニー勝利への軌跡

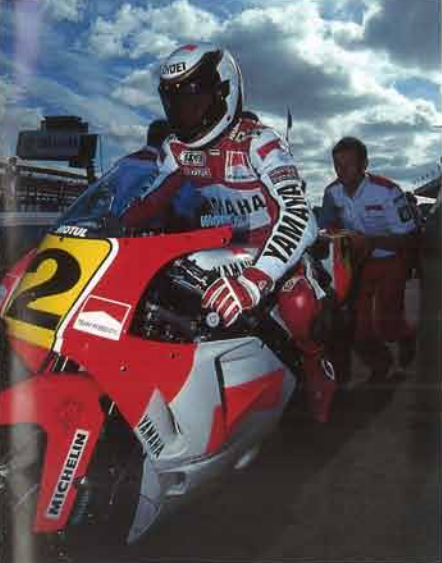
New Model ● 元気いっぱいイメージチェンジ

PW50

特集 ● 気分は「あかるいスポーツ」宣言。

一人旅・安曇野の里





R5 西ドイツGP

予選での転倒、ケガ
不本意な2位

長いシーズンには、みんなが見舞われたような不運が、僕にめぐってくる可能性だってあるはずさ。

'90年世界グランプリロードレースシリーズ第1戦から、W・レイニーの快進撃が始まった。熟成を重ねたYZR500とレイニーは、圧倒的な強さを見せ続けた。そして第13戦、チェコスロバキアGPにおいて、遂に念願の初タイトルが彼の手に。優勝7回、2位5回、3位1回と、すべてのレースで表彰台に登る快挙。W・レイニー、勝利への軌跡。

ウェイン・レイニーへの軌跡

R1 日本GP
完勝、そして予感



こんなに引き離せるとは思わなかった。トップ独走中に、自分がNo.1なんだという気持ちが沸いてきたんだ。

R10 フランスGP

安定した走りで
表彰台をキープ



R9 ベルギーGP
雨のレースを制す



R2 アメリカGP



母国での国歌

R12

スウェーデンGP

ローソンとのワンツー。そして
Vへ王手

とにかく、転倒だけは避けようと考えていたんだ。

R11

イギリスGP

プレッシャーの中で…



2位という成績は不満だが、フラストレーションのかたまりになっているわけじゃない。いつものようにサーキットに来て、レースをするだけだ。何が起こるかわからないが、できれば…チェコまでに決めてしまいたい。

YZR500 &
勝利**R13**

チェコスロバキアGP

栄冠を手に

僕はレース前、当然のことながら大きなプレッシャーを感じていた。しかしシュワツツの転倒がすべてをとり払い、僕は勝って決めることだけに集中していたよ。それでも…最後の10周は永遠のようだった…。



デザイン性、機能、ともに充実 '90-'91F & W チームヤマハ

ライダーズウェアの定番アイテムとして高い人気を誇る『チームヤマハ』が、新色パープルを加えていよいよデリバリー開始です。定評の機能とファッション性を、大いにお客さまにアピールしてください。また、人気のTY-111ジュニアバージョン(TY-112)とラガーシャツ(TY-613)もよろしくお願いたします。

TY-111 ¥19,800

【素 材】表地：ナイロン100%
(ナイロンツイルワタシコート)
中綿：ポリエステル100%
裏地：ポリエステル100%

【カラー】レッド/ホワイト、
ネイビーブルー/ホワイト、
パープル/ホワイト、グリーン
/ホワイト

【サイズ】M、L、LL



TY-115 ¥18,800

【素 材】表地：ナイロン100% (異形ツイル)
中綿：ポリエステル100%
裏地：ナイロン100%

【カラー】レッド、パープル、ブラック

【サイズ】M、L、LL

FLEX-FRP複合積層構造、アッパーダイレクトベンチレーション、5段階クイックオープンシールドなど、本格装備を低価格で実現。コストパフォーマンスで人気のジオラマ『TS-II』に、高級感あふれるニューグラフィックを施したニューバージョンの登場です。どうぞ幅広いお客さまにおすすめてください。



¥19,800

【カラー】黒/赤/銀、黒/青/赤

【サイズ】M、L

【規格】JIS-C種

精悍! ニューグラフィック ジオラマTS-II variation

元気いっぱいイメージチェンジ

ヤマハコンペティション

PW50

¥99,000

カラーリング：パーブリッシュホワイト
トソリッド1

チビッコオフローダーの人気を集めるPW50が、'91YZシリーズのイメージで元気いっぱいに登場です。将来のチャンプを夢見る子供たちに、どうぞおすすめてください。



*価格はすべてメーカー希望小売価格です。この価格には消費税等は含まれていません。



C O N T E N T S



'90世界グランプリロードレースシリーズ
YZR500&W・レイニー
勝利への軌跡……………2

NEW MODEL ●元気いっぱいイメージチェンジ
PW50……………4

特集 ●気分は「あかるいスポーツ宣言」。
一人旅・安曇野の里……………6

●Y.E.S.S.活動ノート
遊・YOUR・誘SHOP……………15

●リレーエッセイ
ツーリング紀行 村山 たかね……………18

●時代をつかむ話題と情報
情報スクランブル……………20

うちのお店の元気印……………22

ご商売ヒント&ヒント……………23

サービスマン日記……………24

トピックス……………25

インフォメーション……………28

レーシングエクスプレス……………30

from SAFETY……………32

HOT SHOP 拝見……………33

THE LATEST AD……………36

セールスカレンダー		10月～11月	
10月	21⑩	大安	
神無月	22月		
5 金	23火	23	電信電話記念日
6 土	24水	24	国連の日
7 ⑩	25木	25	原子力の日
<small>全日本ロードレース選手権 第15戦1000ccクラスロードレース全日本トライアル選手権 第1戦北陸</small>	26金	26	大安 読書週間
8 月	27土	27	全日本ロードレース選手権 第16戦MF1グランプリロードレース大会 全日本トライアル選手権 第8戦中部
9 火	28⑩	28	
10⑩	29月	29	
11木	30火	30	
12金	31水	31	
13土			
14⑩	鉄道記念日		11月
<small>全日本モトクロス選手権 第12戦中部</small>			霜月
15月			1 木
16火	大安		2 金
17水			3 ⑩
18木			4 ⑩
19金			<small>全日本モトクロス選手権 第13戦日本GP九州</small>
20土	えびす講		5 月

セ | ル | ス
| 歳 | 時 | 記



天高く、人の夢も大きく膨らむ季節。カルチャー、スポーツ、レジャー etcと、秋はお客さまへのアプローチポイントがあふれています。秋らしい店内演出とともに、これらの要素を活かしたセールやイベントの、積極的な展開でお客さまをつかみましよう。

秋はさらに自己啓発のシーズンでもあります。秋の夜長を利用しての読書や、忙しい合間を縫っての映画、テレビ観賞も、お客さまとの会話を膨らませる大切な要素。教養は大きな魅力です。

ライダーの 心を映す ライディング
'90二輪車セーフティスローガン最優秀賞作品

特集 気分は「あかるいスポーツ」宣言。

一人旅・安曇野の里



生氣満ちる水、滲みる心
夏を野辺おくる
秋の信濃路



旅人を迎えるほのかな情がここにはあった

峻険な峰々つらなる信州路

水は生氣を溶かし 湧き

人は旅人を淡く暖める

枯れ色に染まりはじめた木々の葉、薄黄金色の稲穂の波

秋の息吹 それは、歎び色

安曇野の里と出会った人々には

あったかいぬくもりがあった



雲が歌っているようだなあ——
岡谷分岐からまっすぐ北へのびる高速道路。連続して打ちつけてくる風と格闘しながらも、ふとそんなことをつぶやいていました。
峰々の重なりを追うように、丸い雲が地平のかなたまで連続しています。急角度でのぼりつめる緑の斜面には雲が落ちて、だんだら模様影……。風が流れるにつれ、雲は寄りあい、離れ、そして

命延びる水——延命水 アルプスの霊気を集めた水は きりりと冷たく緊張していた ——山の息吹を感じさせた

こんなのは水じゃない！——目一杯冷たい水。緊張感あふれる水らしい水に合いたい、そう思いはじめるともうたまらない……。
旅に出よう、そう思ったときから行くのはバイクでと決めていました。冷たい霊気に満ちた水に出逢うためには、熱くこもった空気を打ち破らなければならぬ。それも生身の自分で——そして、目的の地は信州。

ここに感じとれるのでした。
フーツ、ハーツ、シールドを開けて、秋を思いっきり深呼吸。
この地は北アルプスからの湧き水が伏流となった後、一気に湧きだしています。そのため清涼な水がいたるところにある。……ガイトの紹介文のとおり、はからずもばったり『名水』に僕は行き当たってしまいました。
『安曇野の名水』と命名されたその水は

たおやかに吹かれています。それはまるで毛糸の玉がいくつもいくつものところがついていくようでした。じんわりとしみこんでいくような自然のリズムに、なぜだかフフ……。笑いがこみあげてくるのです。
ことしの夏の頑固さは、ウチのいなかの親父にも勝るとも劣らないものでした。厳冬という言葉があるなら、こちらは厳夏とでも呼びたいしろものでした。
こどもも暑くなると、とたんに腰を崩してしまふのが東京の水。
都会の激をすべて含んでしまったかのように、蛇口から流れ出る水はなんとも生温かく、生気をまったく失っているように感じたのです。

思い立ってR11Zのキックペダルをキックする。バイクの硬い振動が、腰に伝わり、心に伝わる。アクセルを軽くあおってみる——パァン！それが旅のスタート。振りかえった街は、うっすら霞に包まれていました。
中央高速道路・岡谷分岐から北へのびる長野自動車道路は、豊科ICで終点をむかえます。北へのぼりつめたその地は安曇野。
安曇野は北アルプスの山麓に広がる平野です。降り立った安曇野——薄黄金色に穂をたれる稲の波、ほのかに紅をさしはじめた木の葉、そして淡く色を変えつつある木の葉。すでに、秋の気配がそこ

意外にも庶民的な場所に位置していました。それは街道脇のレストラン前で、新しい石柱からほとぼしっていたのです。石柱には穴が2つ穿たれており、ガラスを素材に使ったちよつとおしゃれな蛇口がついている。水はガラスからとめどなく流れていました。『日本名水百選』にも選ばれている、と誇らしげに説明まで添えられています。
「本当かよ——疑いながらも僕は流れに手をかざしました。水は、確かに冷たかった。しかし、からだは震えなかった。味は、清涼だった。でも、信濃の風にまじったレストランのカレーの匂いのほうが僕の鼻孔をくすぐるのでした。



信州で見つけた聖水は震えるほど冷たく、そして生気に満ち満ちていました。それはすばらしく存在感あふれる水だった



安曇野に出口を見つけたアルプスの生気——水は1か所から湧き出ているわけではない。水を求めての旅は始まったばかり。ほかに水はあるさ。パアン！ R1-Zに励まされて『名水』を後にしたのでした。

安曇野には犀川（梓川）に沿って日本でも最大規模のわさび畑が広がっています。この一帯が大湧水地帯だと聞いて、僕は足を向けたのです。

わさびは清涼な水でしか生を営むことができないといえます。水を持つ靈気をぞんぶんに吸って、わさびはキリリとした辛さを身にまとうに違いありません。わさび畑は水の流れを追って、茫漠と広がっていました。かなたまで連なる、陽よけの網屋根。その上を飛び交う赤とんぼ。そして、畑を囲いこむようにみやげの屋と食堂が軒を連ねていました。

わさび畑でも『名水』がすぐに見つかりました。でも、その水は商品として売りに出されていたのです。水の缶詰、名水でたてたお茶が売り文句の茶屋も建てられている——。「こんなのじゃない！」僕は早々と立ち去ったのでした。

陽が勢いを失くしはじめている。水の情報を入れなげな……、そうそう泊まる宿も決めていなかった。傍らのバイクを見て、とりあえず近所のバイクショップを訪ねようと思ったのでした。

探しあてたそのお店は「YSP安曇野」さん。豊科の駅前からちよつと奥まって建っていました。のどかな街の風景とは趣を異にした、かまぼこ型の屋根が印象的です。僕はおそろおそる中を覗いてみました。

信州の山麓に宴の夜は更けていく。それは焚き火にも増して暖かく、旅人の心に滲みるものだった



「ライダーを迎え入れる宿を作るのが夢なんです」
信濃の清水湧く里・安曇野
ここには暖かな情も湧き出ている



「いらつしゃい！」

むきだしのコンクリート壁を使った現代的なお店とはうらはらに、温かい人柄が透けて見えるような男の方が迎えてくさいました。肩ががっしりと張ったスポーツマン体型、胸板の厚さが人情の厚さを物語っているようです。お名前は岩崎さん、お店の社長さんでした。

安曇野を北にたぐく古道に千国街道があります。太平洋岸と日本海岸を橋わした街道は交易の旅人が多く行き交ったとか。そんな旅人を迎え入れる風土がいまも安曇野には継がれているのでしよう。岩崎さんはおだやかに僕の話相手になつてくれました。重ねた距離のせいか、乾ききった僕の気持ちをゆつくりと湿らすように……。

岩崎さんの言葉が熱を帯びはじめました。そして、ほつりと

「ツーリング・ライダーを迎えるための夢があるんですよ」と僕にもりました。

その夢とは――

信州はツーリング・ライダーが数多く訪れます。中には疲れたマシンがトラブルをおこすケースもあるとか。マシンの調子が悪い、引き上げにきてほしい、そんな電話が入ると岩崎さんはいの一番で駆けつけるのです。

「正直いって店の利益を優先させるとしんどいんですわ。でも、これは店をやっている者の使命だと考えているんです」
心意気、そんな言葉を僕は思い浮かべていました。岩崎さんの話しは続く――

「以前、旅の途中でトラブルを起こしたライダーを、パーツが届くまでの間、事務所に泊めたことがあったんです。それ以来、彼からはずっと手紙がきていまし

大自然にとけこむYSP

YSP 安曇野 / 岩崎澄雄社長

長野県南安曇郡豊科町大字豊科4898

☎0263-72-2334

「モトプラザ・イワサキ」を父親から受け継いだのが、今から15年程前。以来「オートバイという高額商品にふさわしい店舗を」と思い続け、'88年3月に「YSP 安曇野」をオープンさせた岩崎社長。トンネル工事用の半半径の天井、コンクリート地を生かしたシックなショールームと、すべてが社長の意気込み。しかし、それにも満足することなく、ツーリングスポットにあるYSPの役割を果たしたいと、ライダーの宿泊施設の計画も進めています。

ショップ仲間とのバーベキューには、社長自らが誘ってくれました。迎えてくれた「安曇野ライダーズクラブ」のみなさんと、大変楽しい時間を過ごさせていただきました。



てね。で、その『迎え入れ』の気持ちをすべてのライダーまで広げられたらと」岩崎さんが暖め続けているのは、ライダーが集えるような宿をお店の裏につくること。ライダーが旅の一夜を楽しめるような、心を重ねられる宿……ホテルでもない、旅館でもない、現代に建てられる旅籠だ、話を聞いていた僕はそんなことを思っていました。

「そうそう、今夜はウチのお客さんが集まってキャンプ・パーティがあるんですよ。こない？」こんな機会、めったにあるもんじゃない。岩崎さんの誘いに僕はいちにもなく思いっきり首をたてにふっていました。

山麓をかけたぼる途中に「会場」はありました。すでにメンバー14、15人が集まって、火をおこしている。岩崎さんと到着した僕を、皆はためらいもせず旧知の仲間のように輪の中へ迎え入れてくれたのです。火は闇の中で大きく踊り、肉を焦がす音が冷気に吸い込まれる……。

「肉、焼けてんぞ。食べ食べ！」
「ダーメだよオ、酒のまなきや。作ってやるよ、ウイスキーか？」



「バイクの止め方…… そんなささいなことでも 社会の目は改善できるんです」 力強い決意が垣間見えた

クラブの参謀格のよっちゃん、おだやかな笑みを崩さない宮さん、親父は社長で息子はトランペット吹き、平林さん親子。次々とやってきては肉を、酒をすすめてくれる。ふと気づいて、社長に「これも『あかるいスポーツ』宣言か。……ですよね?」と尋ねると、岩崎さんは「フフ……」

山の冷気が重く沈みはじめた深夜を過ぎて、宴は重ねられていきます。焚き火のせいだけではない、ほのかな暖かさに包まれながら、僕はゆっくりとゆつくと心地よい夢にすくわれていきました……。

翌朝、目をさますとあたりは霧にふわりと覆われていました。関節が外れそうなほど、うんと伸びをする。透明な、鋭い冷気がからだに入り込む。キモチイイ!

やがてメンバーも起きてきました。ゆうべは宴にまぎれて尋ねられなかったうまい水のある場所、知っていたら教えてもらおう。

「このあたりにうまい水ってあります……」

即座に答えが返ってきた。

「そりゃあ、『えんめいすい』に限るよ」

「えんめいすい? 東京で買ったガイドにはどこにもそんなこと書いてなかった。いぶかしげな僕の表情を見てとったのか、ここからすぐだから行ってみようということになったのです。」

溪谷を追い、林道を軽トラで登っていく。山麓をのぼるいくつもの林道の一本であることはわかったのですが、自分が地図上のどこにいるかは皆目見当がつかせません。砂利道をゆられゆられ30分も走っただろうか、谷川の音と林道を覆う木もれ陽に包まれ『えんめいすい』はひよっこりと姿をあらわしました。

10メートルほど、ほぼ垂直に切り立った崖。幅は15メートルほどか。崖にはシダがはえ、苔が一面を覆いつくしています。その崖の見上げるような高見から幾筋もの水が、競い合うように落ちてい。はじけ飛んだ水玉が、朝日を受けて、虹色を放ち、シダの葉を濡らせ続けています。

「これだ!」思わず僕は、落ちてくる水



をつかみました。

痛かった。掌の水は僕から熱を奪う。キリキリと締めあげる緊張感が、手から全身に伝わってくるのです。

山の息吹だ——

やっとたどりついた。僕は満足でいっぱいになっていった。……僕はことばを失ってしばらく立ちつくしていました。

水辺に朽ちかけた立て札が一本、ひっそり立っているのに気づきました。札にはひとこと、『延命水』とだけ書かれています。『延命水』——命延びる水、か。口に含んだ水はほんのちよっとだけ甘い気がしました。

アルプスの水はころがり、寄り合いながら霊気をたくわえていきます。清水はやがて溪流となり、集まって梓川、犀川、千曲川へと流れ込む。延命水にぞんぶんに浸った僕は、信濃の霊気の奔流を見届けたくなっていました。泡立ち、ぶつか

YA-1からヤマハひと筋

YSP松本/古田詔一社長

長野県松本市石芝3-2-20

☎0263-26-2780

JR松本駅前にある「ヤマハオートショップフルタ」の支店として、約4km程離れた場所にオープンしたのが'82年。その2年後にYSP店として新装オープン。

客層は20歳代から40~50歳代と幅広いが、中心は20代~30代。Y.E.S.S.スタッフ数は約100名。社長、サービス、アルバイト事務の3名のスタッフが、遊び心旺盛なお客さまをバックアップしています。

お伺いした時、古田社長はオートバイ整備の真最中。忙しいにもかかわらず、手を洗いながら「いらっしゃい」と笑顔で迎えてくれました。「確かな技術力」がお店のセールスポイントですが、「写真？私を撮るの？苦手なんですよねえ」と言いながらも、こちらの希望に応じてくれた古田社長の人柄が、なよりの魅力です。



ライダーが集い、旅出していく地、松本。「バイクはあくまで道具です。だから正しく使わねばならない…」ライダーが決して忘れてはならない言葉が胸を打つ

りあう流れをこの目で確かめたい気持ちにかられていたのです。安曇野を流れる犀川（粹川）を伝い、さかのぼろう。最終目的地は——上高地。

「上高地へ行くのなら途中の松本でYSP松本さんに寄ってみたら？」岩崎さんの紹介にしたがって、お店をめざす。旅人は、ときに素直なのだ。

「YSP松本」さんは松本—空港線という幹線道路に建っていました。お店をのぞくと50がらみの男の方が、黙々とVMAXを整備しています。

「こんにちは……」控え目に声をかけると、振り返って大きな笑みを返してくださいました。

その大きな笑顔こそが社長さんでした。お名前は古田詔一さん。古田さんは忙しい手を休めて、このきままなライダーを迎えてくれたのでした。

YSP松本さんは商店街からはずれた住宅街の一角に位置しています。幹線道路と店舗の間にはバイクの駐車スペースが広くとられているのが印象的。次々と訪れるお客さんは、その駐車スペースに整然とバイクを並べていく。その様子に

感心して見入っていると、「気がつかれましたか」と古田さんが話しかけてくれました。

「世間ではまだまだバイクに対して偏見の目があるんです。こうした目を変えていくためには地域の方々にアピールしていただく必要なんです。道路にはみだしてバイクを停めない、ささいなことですがこれもアピールの一つなんです」

古田さんが僕を相手にお話しくださっている間、お店の常連客らしい少年2人がじつと耳を傾けている。

「彼らはね、高校生なんですよ……」という話から話題は交通教育の話へ。

「交通教育は終身教育だと思うんです。始めるのは早ければ早いほどいい。高校時代から始められるのがベストなんではないでしょうかねえ」と話した後、古田さんは原付免許にも話がおよぶ。

「個人的ですが、いまの普通免許のふろく的な原付免許はちょっと疑問ですね。おまけでも、あれば気軽に乗ってしまう。でもバイクとはどういうものを理解していないから事故を起こしてしまうんです」

YSP松本さんではこうした初心者に対して、納車後、河川敷の広場へバイクを持ち込んでみっちり指導、講習を行なっているといいます。

「バイクはあくまで道具なんです。道具の正しい使い方というものを、売る側もしっかり教える必要があると考えています」古田さんは力強くおっしゃった。

「気をつけて行つてらっしゃい」古田さんに送られて、僕はお店を、そして松本を後にしました。

上高地へはバイクでは入れない。乗り



心にとけこむ信州の記憶…… ありがとう信州 ありがとう暖かき人々

換えたバスにはシーズンオフのせいだろうか、乗客はまばらでした。バスの窓から險しく切り裂かれた峰々

がゆっくりと見わたせます。開け放った窓から入る軽やかな風が、僕の前髪をもてあそんでいく。僕は今回の旅を思い出

していました。YSP安曇野さんで出会った楽しい人たち、ようやく見つけた信濃の冷たい水、YSP松本さんで知った安全への取り組み……。

気づくとだいたい標高も上がってきたようだ。空が近い。バスを降りて木立を歩いていくことにしよう。

すでに赤みを増した陽は雲と雲の間から斜めに差し込みはじめています。木々の葉が陽に射抜かれてやさしい薄紅に光っている——。僕はざわざわとした予感に包まれていました。

と、立ち枯れた木立の間から音が滲み出してくる。轟然と信濃の息吹を流す川・梓川の息づかいだ。僕はかけたし、土手を走る。川砂に足をすくわれ、枯れ木につまづく。靴の中に砂が入りこんでくる。そして……

僕の目の前には陽光を受けて光踊る、力に満ち満ちた川面が広くどこまでもつながっていました。

ちっぽけな僕より、その川はたいそう大きな存在感をもっている。すげえ……。「母なる……」情けないことに、次の句が出ない。ただ見とれるだけ。

心の浮沈を重ねながら、ようやく「僕の水」にめぐりあうことができました。口をすずき、手ですくうことで身にまわりつく濃を流すことができたのです。信州の靈氣を思いつき呼吸できたこの旅——僕はもう少しの間、続けてみようと思っています。信州に溶け込めるまで……。「もう少しな」とR1-Zのタンクをポン、とたたいてアクセルに手をかけました。

Y.E.S.S.

YAMAHA EARTHLY SPORTS SHOP

Y.E.S.S. 活動ノート

遊・YOUR・誘SHOP

Y.E.S.S.ショップの元気集団 オリジナル・クラブ活動記



個人で楽しむバイクライフと、仲間と楽しむバイクライフ、バイクの楽しみ方を大別すると、こんなふうになるのでしょうか。今回採り上げたお店のクラブ活動は、もちろん後者の楽しみ方。明るく愉快地にバイクを楽しむ、ふたつのクラブをお訪ねしました。



河原店長(右から2番目)の良き相談相手、金井さん(中央)は、「ツーリングのプランも立てる時も中心となる存在

Touring

ランドスポーツクラブ

YSP 荒川さん(東京都荒川区・河原正義店長)

60歳のライダーもいる バイク大好き集団です

ランドスポーツクラブのプロフィール ●主な活動 月例ツーリング ●入会資格: Y.E.S.S. スタッフで安全にツーリングを楽しめる人 ●クラブ員数: 約30人(女性3名) ●平均年齢: 33歳 ●クラブ・リーダー: 特になし。お客さまのベテラン層と河原店長で運営する ●入会金・会費: なし(月例ツーリングのために、保険代として¥500徴集)

クラブ運営がライダーの ロングライフ化に貢献

「どこに出しても恥ずかしくない、グッドライダーのクラブです」と河原店長が胸を張る「ランドスポーツクラブ」。その名のとおり、大地と遊ぶことを目的としたツーリングクラブです。

クラブの発足はお店のオープンとほぼ同時期の昭和56年ですから、今年で満10歳。クラブが齢をとれば当然会員も齢をとるわけで、平均年齢は33歳にもなるそうです。

「大地と遊び、バイクと遊ぶ中で、本当のバイクの楽しさを見つけてもらおうというのが発足の主旨でしたから、いままなおクラブに残っている人たちは、その楽しさを見つけてくれた人たちなんですよ。だから、平均年齢が上がっていくのは仕方がないし、むしろ歓迎すべきことだと思えます。

「俺は一生バイクに乗るぞ」と言っても、家族ができたり他の趣味ができたりますと、途端にバイクをやめちゃうの

が、いまの風潮ですよね。それでもみんな乗り続けてくれてるし、中には60歳を超えてもまだ参加してくれる人もいます。これだけでもクラブを運営してきた甲斐を感じますよ」

グッドライダーを育てる クラブの伝統

「ランドスポーツクラブ」を実際に運営しているのは、金井明男さんをはじめとする常連のお客さまの面々。みなさんバイク歴10年以上のベテランであり、クラブ内では指導的な立場にある方です。

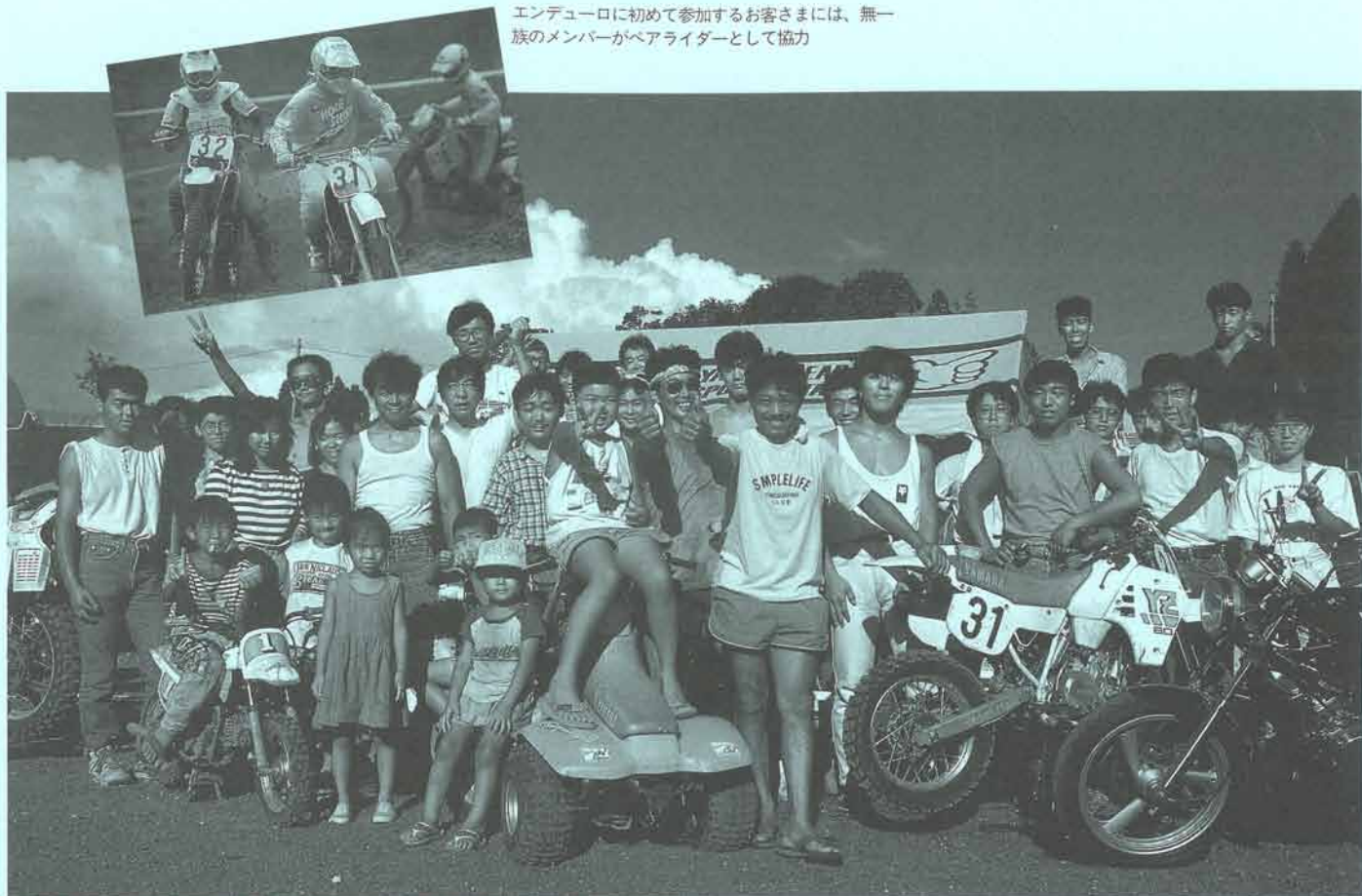
「みんな安全運転には厳しい人たちですからね、初めて参加するお客さんなんか、正直言ってるさがあるんじゃないですか。でもね、それでそのお客さんが次回のツーリングに参加しなくても、別にいいと思ってるんですよ。その中からルールとマナーを守れるお客さんが残って、次に入ってくる人たちに指導する。これで10年間続いてきてるわけですから」

定例のツーリングは月に一回、毎月第3日曜日の定休日に行なわれます。内容はオンロードであったりオフロードであったり、またオン・オフ合同のツーリングでバーベキュー大会なども開かれます。しかし、クラブ員の大半が家族を持っている身、たまの休日に家を空けることに對してみなさん引け目を感じているようです。

「だから年に一回、家族も参加できるツーリングラリーを企画して、何とか許してもらってます。お父さんライダーも気遣いが大変なんですよ」

ひとりひとりがクラブの伝統を守り、ルールとマナーを大切に「ランドスポーツクラブ」は、まさに大人のクラブと呼べそうです。

エンデューロに初めて参加するお客さまには、無一族のメンバーがベアライダーとして協力



8人のライダーに対して応援団40人。このアットホームなチームカラーが無一族の特徴です

Race

無一族レーシングチーム

YOU SHOP イイヤマさん(東京都墨田区・飯山孝二社長)

勝つことより楽しむこと
これがチームのポリシーです

無一族レーシングチームのプロフィール ●主な活動：Y.E.S.S. チャレンジカップ・エンデューロ、MCFJモトクロス ●入会資格：Y.E.S.S.スタッフ ●クラブ員数：10名 ●平均年齢：32歳 ●クラブ・リーダー：発起人の飯山誠司さん ●入会金・会費：なし

チームはお店のイメージ・リーダー

飯山社長もメンバーのひとつとなつて「無一族レーシングチーム」は、設立から15年間オフロードレース一本で活動してきた老舗のチーム。関東地区のコースを中心に、昔ながらの仲間とモトクロスやエンデューロを楽しむアットホームなチームです。

チームの発起人は社長の友人であり、長年のお客さまでもある横山誠司さん。若いメンバーのみなさんのまとめ役であることはもちろん、40歳を超えた現在も自らレースに参戦する元気な3児のパパです。

「もともと好きな人が好きなことをやるためだけに集まったチームですから、人数も少ないし、活動の幅もかなり限られています。それに、みんな年齢とって性格も穏やかになったから、チームというよりはサークルののりですよね。」

「無一族」の遊びの幅

「無一族のメンバーは全員で10人あまりですが、その予備軍のお客さんは何十人もいます。これからはこうしたお客さんも呼び込んで、レースだけではなく遊びの幅を広げていきたいですね」

冬はスキーバスを仕立てて50人のスキー旅行、子供からおとなまで楽しんだ夏のザリガニ釣りツーリングと、無一族の遊びの世界は広がるばかり。レースの会場でも大がかりなバーベキュー・パーティを開いて、40人以上の予備軍を集めています。

「とにかく実際にレースを観せてあげれば、次は自分で走りたいってほとんどのお客さんが言ってくれます。基本的にはみんなバイクが好きな人たちですからね。だから店ではセロー225とXT225、XT250の3台をレンタルバイクとして用意し、たくさんのお客さんにレースの楽しさを味わってもらえるようにしてあります」

と、飯山社長。その言葉どおり、無一族の活動に刺激されてオフロードレースを始めるお客さまも少なくないようです。

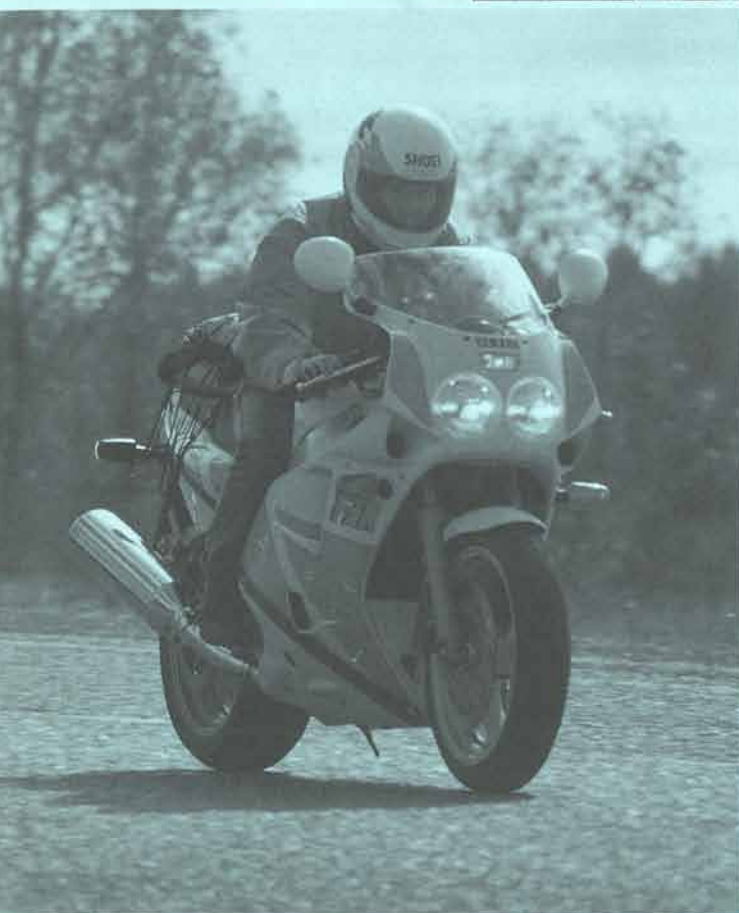
RS認定店としての技術を駆使してチームの活動をバックアップする「YOU SHOP イイヤマさん」。「勝つことより楽しむこと」というチームのポリシーは、若いメンバーのみなさんにも引き継がれているようです。

ツーリング紀行

赤道をこえた「違う道」
そこで出逢ったデイ・ドリーム

オーストラリア

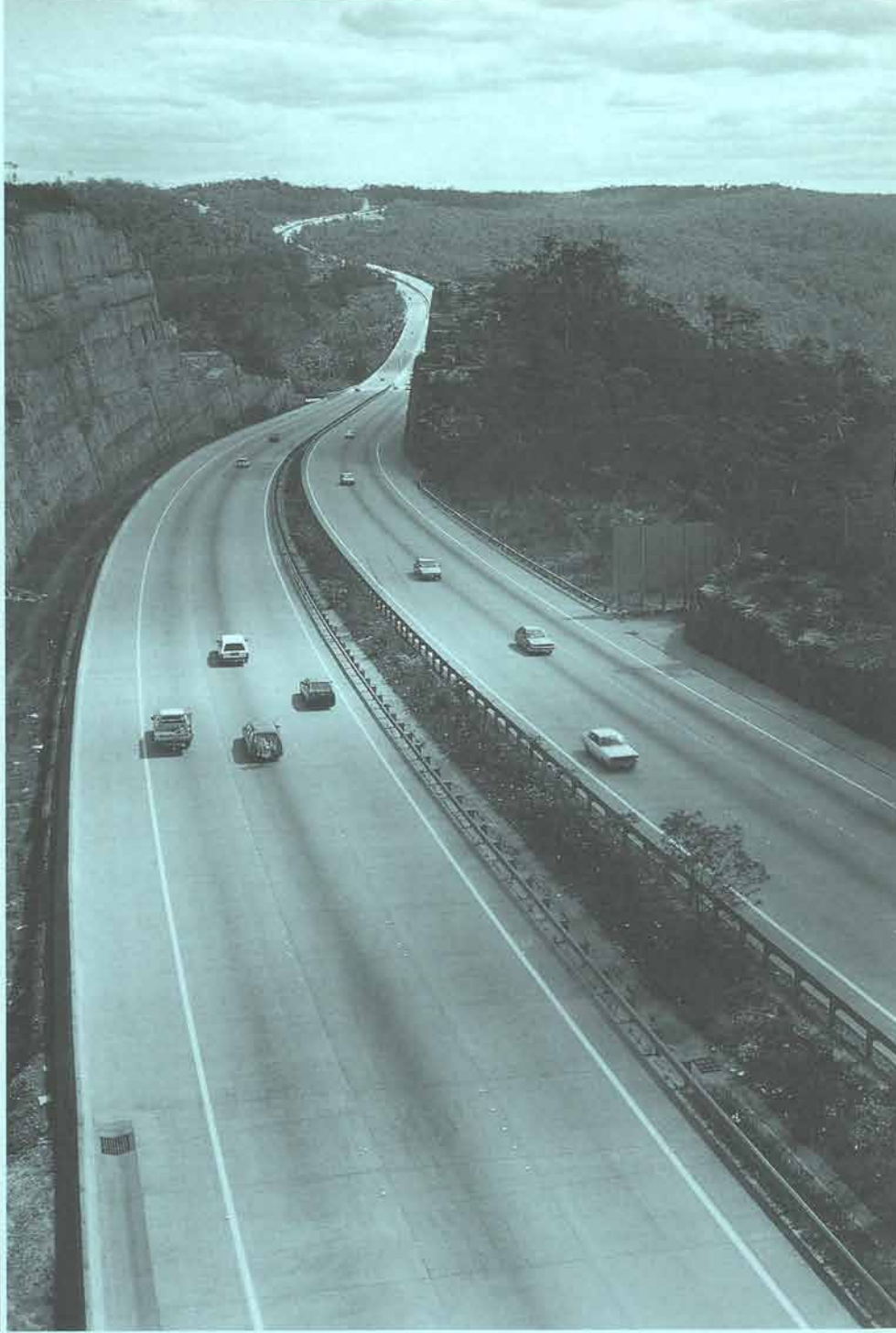
●月刊レディスバイク編集部 村山たかねさん



道はどこだって同じだと思っていた。ただ、それが長いか短いか、まっすぐか曲がっているかの違いでしかなく、道はどこを走っても変わらないと思っていた。

オーストラリアを走るまでは。

朝、宿を出る。地平線まで続くまっすぐな道との予想に反して、オーストラリア東海岸のルートは、ユーカリの森や丘陵の牧場地帯の広がる緑のワインディングロードが続いていた。牧場では馬や牛が静かに草を食んでいる。そんな情景を横に見ながら、のんびりと走るFZR1000。しかし一旦、フリーウェイに入ってしまうと、100キロオーバーのクルージングを楽しめるのもオーストラリアの顔だ。こんなスピードで走り続けるのは初めての経験。しかも路面状態の悪い一般道ではなおのことだ。しかし走っても走って



も、道は終わらない。

果てしなく続くワインディング、そして牧草地、森林、丘陵、牧場。どこまで走ってもいつまで走っていても、今日の宿泊地には到達しないような気がしてくる。次第にスピード感覚や距離感覚がなくなってきた、次の街までの距離を示す標識が20キロであっても、それがたったの2キロのように感じられる。

そんなふうには500キロを走り、一日が終わろうとしているとき、再び牧場の牛や馬を見た。彼らはまだ草を食んでいる。私が何時間もの間走ってきたのに、景色も道も何も変わってはいなかった。相変わらず牛は草を食み、ワインディングロードは果てしなく続いている。山の端に傾く太陽とオドメーターだけが、走っていた証拠を示している。

どこまで走っても変わらない道。私は「違う道」に初めて出会えたような気がした。

情報

ラル
クブ
ス

時代をつかむ
さまざまな話題、情報を満載
ご商売にお役立てください

BOOK

●新時代の注目ポイントとは？ 『消費トレンド全予測』

1990年、新しい時代の幕を開けた1年も、残すところあと2カ月あまりとなりました。今後、90年代はみなさんにとってどんな時代になるのか、手応えを感じることができたでしょうか。

この本は、最も気になる一般のお客さまの消費動向についてダイレクトに予測。「知」「美」「健」「個」「感」といった基本キーワード、あるいは年齢層別のライフスタイルなどから、いま、そして今後の姿に迫ります。

不透明と言われる時代だからこそ、的確な状況把握と素早い対応が必要です。自店の商圏に照らし合わせてお客さま獲得のアイデア作りにお役立てください。

船井幸雄／船井総合研究所・編集
実業之日本社・刊 1800円



MUSIC

●本命サザン登場 『オリコン・CDトップ10』

S・A・Sの桑田佳祐が、初めて映画監督としてメガホンを握った「稲村ジェーン」の挿入曲を収めた同名アルバムが、いきなりトップにランキング。前評判通りの人気をみせています。

日本人離れしたリズム感が持ち味の久保田利伸も要注目です。

順位	タイトル	アーティスト
①	稲村ジェーン	サザンオールスターズ S. A. S. オールスターズ
②	リップ・retour	今井美樹
③	ZIP	長瀬 剛
④	See Ya	チャゲ アスカ CHAGE & ASKA
⑤	BROTHER	中村あゆみ
⑥	The Best of Dream	レベッカ
⑦	グラフィティ・ブリッジ	プリンス
⑧	BONGA WANGA	久保田利伸
⑨	ザッツ・ユーロビート Vol.21	アレフほか
⑩	OOPS!	チェッカーズ

(9月10日付/オリコン調べ)

COMMODITY

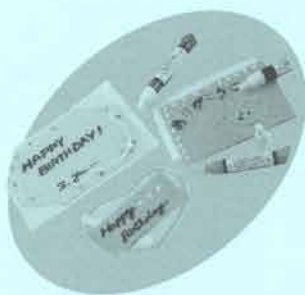
●手軽に立体文字が書ける 『モコでるマーカー』

書いた文字に、ドライヤーやアイロンで熱を加えると、インクがモコモコ盛り上がり、立体文字になる便利なマーカーです。

オリジナルPOPやポスター作りに、あるいはTシャツやハンカチのオリジナルプリントに、アイディア次第で用途はさまざま。洗濯もOKです(ドライクリーニングは不可)。

レッド、イエロー、グリーン、ブルー、ブラック、ホワイトの6色。各250円。

お問合せ/サンスター文具
03・872・7101



●壁を傷めない両面テープ 『ピンナップテープ』

壁に貼ったポスターやPOPをはがす時、壁面に跡が残ったり汚れてしまったりするのは、何とも困ったものです。

この「ピンナップテープ」は、壁に付ける面にウレシート粘着素材を使用し、壁面を傷めることなく貼ったりはがしたりできるテープ。しかも、ウレシート面が汚れて粘着力が弱まっても、水ぶきするだけで再利用できます。

15mm幅、長さ3m。450円。直径3cmの円形シールタイプもあります。280円。

お問合せ/デザイン ワークス
03・485・3211



YAMAHA NOVELTY 1990

ヤマハから心を入れてみなさまへ

ヘルメットのシールドのすきまから感じる風が、はっきりと秋の匂いを漂わせる季節になりました。気まぐれな秋の空と気分を合わせ、フラリとソロツリーリングなんていいですね。そんな時のために、常備しておきたい小道具たちを選んでみました。



■システムバック
(No.371034/6000円)
目覚まし時計にラジオ、電卓。カードケースをひとつにバック。旅先に限らず、外出先や仕事場などでも便利です。



■ホビースタッフ
(No.371085/4500円)
車載工具にプラスして持っている、何かあったとき、大急ぎに立ちます。ドライバー、ペンチ、金づち、レンチ、カッターなど7種のツールをコンパクトに収納。



■マルチツール
(No.371086/7/1800円)
ドライバーと6角レンチが5種ずつワンセット。手の平に収まるコンパクトな折りたたみ式ですから、ポケットに入れて持ち歩けます。



■ソーイングセット
(No.371088/500円)
ツリーリング先で、服を縫ってしまったりボタンが取れてしまったときに、すかさずソーイング。女性らしさを演出する必需品です。

“猫の目”東京・流行事情 渋谷の次は上野に注目!

「存じのように、東京は若者たちにとって流行を生み出す情報発信都市。これまでも、原宿や六本木、渋谷など、発信源を変えながら常にファッションやライフスタ

イルの最先端をリードしてきました。ごく最近では渋谷、波カジ、アメリカ」といったファッションスタイルが大変な人気でした。

ところが今、渋谷に代わって上野がファッション発信基地になるうとしています。

上野は、下町、東北への玄関としてのイメージが強く、流行とはやや縁遠い街のように見られてきました。それを意外な穴場としてヤングに知らしめたのは、波カジ、アメリカ」の流行です。

もともと、アメリカ」を中心に、アメリカの輸入雑貨を多く扱う店が多かったことから、渋谷よりアイテム数が豊富で、掘り出し物も多い街として雑誌に登場。次第に10代を中心とするヤングの注目を集め始めた、というわけです。

まだ上野を「安いアカ抜けない」とみる人も多いようですが、「上野キッズ」と呼ばれるヤングたちは「安くって価値のあるものがいっぱい」と評価。「91年はミリタリー(軍服)ルックがはやる、とウワサされる中で、昔からミリタリーファッションに強い上野が、さらに若者の街に発展しそうです。

また、同時に都市再開発の波で、アメ横アーケードや地下鉄12号線などが、数年中に完成の予定。JR上野駅も高層ビル化など、モデルチェンジ」されつつあります。

「あとは、ゆっくり休める飲食店があれば」というのが上野キッズたちの要望。

上野バイクタウンに集まるライダーたちも、新生・上野でファッションナブルに変身するかも?

最近三よに
若いのが増えたネ...
ホントダワニ!



星空は地方の財産? 天体観測が静かなブーム

5年前のハレー彗星、今年のオースチン彗星の接近などから、にわかにより始めたスターウォッチングブーム。

しかし、都会は大気汚染やイルミネーション過多による光害で、星空どころではありません。そんな中、'87年に環境庁は「スターウォッチング——星空の街コンテスト」を実施、全国108市町村を「星の街」に指定しました。

それが引き金となって、星の街では村おこしの絶好の材料とばかりに天文台を作ったり、星空観察施設づくりを始めました。例えば、島根県日原町の「日原天文台」や兵庫県佐用町の「県立西はりま天文台公園」などがそのひとつです。単なる天文台だけではなく、宿泊施設やキャンプ場、資料館など



も備えたところもあり、のんびりくつろぎながら星をながめようという都会人にはびつたり。大ブームとはいかないものの、順調に来訪客が増えてきています。

また、民間でも天文台付きの「星の見えるホテル」や旅館、マンションなどが登場。まずまずの集客効果をあげているようです。

現在、日本天文学会に所属する学者やアマチュア会員はおよそ2400名。ここ5年間で15%増えており、各地に愛好会も続々と誕生しています。

これから秋、冬にかけては、空気が澄んでくるため、天体観測にちょうどいい時期です。パーベキュー大会を兼ねた天体観測ツウリングなどはどうでしょう?ただし、季節から風邪にはお気をつけて。

元気印

10

スチュワーデスの夢を捨て
いまはハツラツ店長代理

相川亜希子さん(YSP高松/愛媛県高松市)



小

学生で4回、中学は3回、高校が2回。なんとこの数字、相川さんの転校の回数なのです。その理由は、

実は父親の捷夫さんがヤマハの営業マンだったため。

落ち着いたのは神戸の高校。進路を真剣に考えた亜希子さんは、生まれて初めてという猛勉強の末、見事英文科の短大に合格。あとは卒業を待つばかりとなりましたが、父親の捷夫さんの決意がまたまた亜希子さんの人生を変えました。

ま

さか、父がヤマハを退社し、四国に戻って販売店を開くとは思いませんでした。私、神戸という町が気に入っていたし、進路も決まっていたから。語学を生かした職業に就きたいと、具体的には、スチュワーデスとかですね。両親は、残って学校へ行ってもいい、と言ってくれたのですが、そうするといえる状況でなかったことは、高校生の私にも分かっていました。短大申し込みの締切日が、とても長かったのを覚えています。

高松に戻ってからは、まず中型の免許を取りました。オートバイには興味がありましたから。RZ250RRのローンのため、朝7時半から喫茶店でバイト。3時半から3時間お店を手伝い、夜11時半まで中華料理店でバイト……。うーん、あの時は本当によく働きましたねえ。その後友人と遊びに行ったりもしました。今じゃ考えられないパワー/学校に行かせてもらえなかった、という親への反抗もあったのかも知れませんね(笑)。

経理の学校にも通い、今は一日YSPで働いています。店が忙しいので納車もするんですよ。125ccぐらいならトラックに載めますからね。力仕事をするとな、何も手伝わうとしない母が、「あなたを丈夫に産んどいて、本当に良かったわ」って、それだけが取柄みたいなことを言うんですよ。

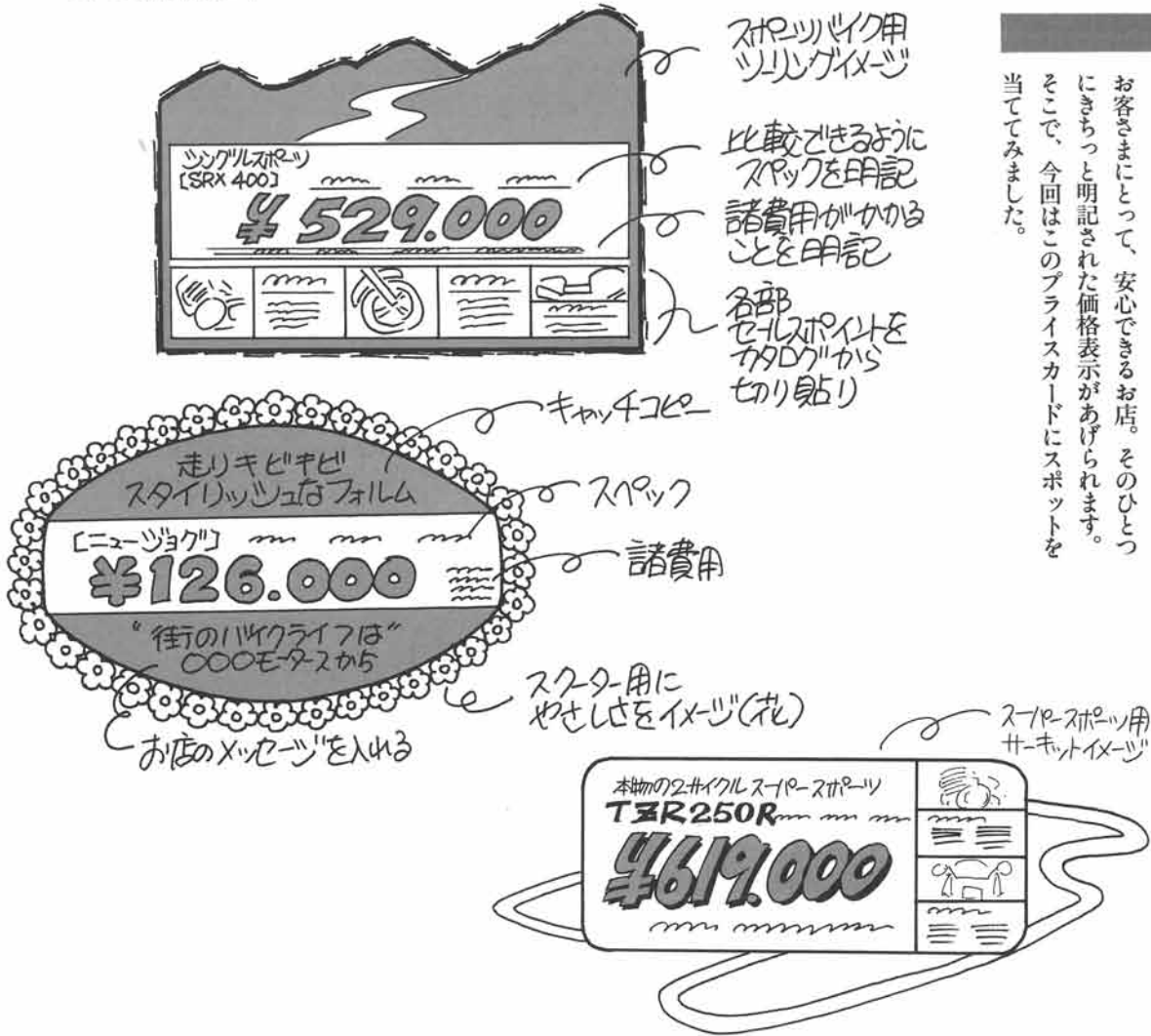
経

理、営業の他、ツーリングの企画や運営と、「店長代理」という名刺の肩書きもなすける仕事ぶりの亜希子さん。「短大に行っていたら、たかさんの楽しいお客さんとは、知り合えなかった。だから私、後悔はしてないんです」と両親の前ではつきりと話す亜希子さんですが、短大の合格通知は、一生の思い出として大切に、机の引き出しにしまっているそうです。

ご商売ヒント&ヒント

10

お客さまを魅きつけ、お店をグッと魅力的に見せるためのヒント集です。初歩的な内容でちょっと物足りないかも知れませんが、どんな活動にもそれぞれ基本はあるものです。お店のオリジナリティを加えて、さらに有効なものとしてご活用ください。



**個性的なプライスカードで
差をつけよう!**

お客さまにとって、安心できるお店。そのひとつにきちっと明記された価格表示があげられます。そこで、今回はこのプライスカードにスポットを当ててみました。

基本項目をおさえよう

お客さまがショールームで自分の予算と商品を照し合わせるとき、また、お客さまの予算にあわせて商談するうえでも、プライスカードは重要な役割を演じてくれます。

そのプライスカードに必要な基本項目を初めに確認してみましょう。

■車名：個性豊かなスポーツバイクに比べ、モデルの多いスクーターなどは「ニューズヨクスポーツ90」と、はっきりフルネームで表示しましょう。カタログのロゴをコピーして貼るのも一案ですね。

■メーカー希望小売価格：ひと目で分かる見やすい大きな文字で表示します。デザイン用品店にあるインスタントレタリングなどを使うと、仕上がりが、訴求力もアップするはずです。

■諸費用の明記：保険料、税金（消費税を

含む）、登録などに伴う諸費用は、お客さまにとって、関心の高い項目のひとつ。スムーズな商談のためにも明記しましょう。

■スペック：お客さまが展示モデルを比較するときや、商品をすすめるうえで、エンジン種類、総排気量、最高出力、カラーバリエーションなどを記載しておくことより親切です。

遊び心の演出

次に個性的なプライスカードづくりを考えてみましょう。

街の通勤者としてヤング、主婦、アダルト層の生活に溶け込んでいるスクーター。新しい世界にライダーを誘うスポーツモデル。TZR、FZRなど、走りを極めたスーパーバイク……。本来の個性は様々です。

その個性に合わせてプライスカードも「ファミリー」「ツリング」「サーキット」それぞれのイメージを演出してはいかかでしょうか。

そして、お店のカラーに合わせて、プライスカードのデザインを統一するのもいいでしょう。

POPのひとつとして

プライスカードは広告、POPとして活用することも考えられます。

基本項目に加えて、商品特徴を伝える「キャッチコピー」や、各部の「セールスポイント」を加えたり、カタログの部分写真と説明文を切り貼りするなど、アイデアしだいでオリジナリティはいろいろと作り出せます。

● プライスカードへのこだわりが、お店の商品に対する情熱、思い入れとしてお客さまに伝わり、ひいてはお店のファンを広げることにも……。個性的なプライスカードづくりにチャレンジしてみましょう。

バイク通勤が準備体操？ 秋商戦も体調万全で乗り切るぞ

待望の夏休みをとったマサノフ君。さあ、ツーリングへ出発……と思いきや、フライデートな用事が持ち上がり、あれやこれやで忙しい休日となったようです。



○月×日——今日から待ちに待った夏（秋？）休みだ。お店の仕事の関係でちょっと時期がズレたけど、久しぶりに5日間の長期休暇がとれたわけだ。

ところが残念ながら、以前から予定していた彼女とのツーリングはダメになってしまった。どうしてか、といえ、この休みを利用して引越しようということになったからだ。

この秋に結婚を控えているボクとしては、それまでにやっておかなきゃいけないことがたくさんあって、そのうちのひとつが新居の整理、というわけ。もちろん結婚まではボクひとりで行くわけだから、生活面でいろいろ苦労すると思うけど、これもひとつの経験。まあそれなりにひとり暮らしをエンジョイすることにしよう。

○月×日——1日では片付かなかった引越しが、どうやらひととおり終わった。ようやく人間の住む家らしくなるとしてひと安心。

結婚したら、ここがボクたちの城になるんだなあとと思うと、何だか改めて感動してしまう。いろいろと大変なこと多いとは思いますが、ガンバっていきましょ！

○月×日——新婚旅行用にパスポートを取りに行く。そのついでに、銀座へ寄って彼女と一緒に映画を観た。ホントに久しぶりのデートだ。彼女も喜んでくれたし、ボクも楽しかった。

でも、去年は、箱根へツーリングに行ったりして夏休みを十分に満喫でき

たのに、今年はバイクも街乗りくらいでガマン。来年こそは絶対ツーリングをしよう！

○月×日——今日から仕事に戻った。どうも夏バテか休みボケのせいか、体の調子がいまいちだ。でも、店のほうは忙しくてそんなことは言っていない。大汗をかきながら仕事をしていたら、いつの間にかいつものリズムが戻ってきた。

しかし、さすがに今日は疲れたなあ。○月×日——9月に入って、こここのころ連日すくなく忙しい。スクーターやスポーツ車など車種を問わずほとんど売れている。今日だって、バンク修理を2台ほどやったあとはずっと納車整備ばかりだった。

こんな調子だと、なんだか疲れを感じる暇もないくらいだ。オマケに、今の新しい家は店までバイクで50分ほどかかり、以前より遠くなったからシンドイだろうと思っていたのに、実際はそうでもない。ボクにとっては、仕事前のちようどいいウォーミングアップになっているようだ。

○月×日——また修理車の入庫が増えてきた。忙しくなるのはいいけれど、あまり気分のいいものではない。今はXV400ピラーゴが3台とRZ250Rが3台入っている。早く修理を済ませて、健康なバイクをお客さんへ手渡したいものだ。



明るい交通社会をつくるという共通の意識を、全員が改めて確認

『“あかるいスポーツ”宣言。を 販売店さん自身が実践、アピール 『Y.E.S.S.ショップオーナーズミーティング』』

販売店さん自身が安全運転を示すことで、交通事故防止、「あかるいスポーツ」宣言。をアピールし、一致団結して業界の活性化をはかろうという「Y.E.S.S.ショップオーナーズミーティング」が、Y.E.S.S.東京ショップ会主催、ヤマハ東京協賛により開催されました。

これは、9月5日・6日の日程で日光、鬼怒川ヘツーリング、という形で行なわれ、主旨に賛同したY.E.S.S.東京販売店134名のみなさんが参加する大規模なもの。当日は全員がR11Zに乗り、こ

の日のために用意された「あかるいスポーツ」宣言。のネームが入ったブルゾンを着用。各営業所をグループごとに出発し、集合地点の日光・中禅寺湖の駐車場ではポラントピアでゴミ拾いをしたあと、鬼怒川まで134名全員で、安全運転を訴える

デモランを行ないました。また、交通事故防止活動に役立ててもらおうと、参加者から募金も寄せられ、集まったお金はショップ会・大月会長から地元は今市警察署に贈られています。



ひとりひとりが率先してゴミ拾い



この有意義なイベントを、マスコミ各紙誌11社が取材に訪れた

本格的コースでオフロード三昧！ '90 Y.E.S.S. サマーフェスティバル in モビリティパーク

前夜祭は、バーベキュー
でたっぷりスタミナ補給

好天に恵まれた8月25・26日の両日にわたり、「'90 Y.E.S.S. サマーフェスティバル in モビリティパーク」が開催されました。このモビリティパークは4輪のオフロード走行が手軽に楽しめる本格的なコース。2輪のイベントは今回が初めての開催でしたが、運営スタッフの努力もあり、施設を最大限に利用した内容となりました。

ベースでエンジョイ。その他、オフロード走行の楽しさを体験してもらおうオフロード試乗会やオフロードライディングスクール。さらには4輪バギー試乗会と、まさにオフロード三昧。日曜日だけでも約5000名のスタッフが集まりました。

もちろん土曜日の前夜祭も好評。こちらはオートバイに乗らない方も楽しめるようにと各種ゲームを用意。ショップ単位や家族連れで盛り上がる光景がみうけられました。



厳しい残暑もなんのその。エンデューロ参加者は元気がいっぱい

バイクで海でたっぷりスポーツ！ 『毎日バイクミーティング』開催

7月、8月はバイクの季節。夏の恒例イベントも数多く行なわれていますが、毎日新聞社主催、ヤマハ発動機・ヤマハレクリエーション「合歓の郷」後援による「毎日バイクミーティング in 合歓の郷」はその代表的なひとつです。

10回目の今年は、8月31日〜9月2日の2泊3日で行なわれ、男性60名、女性21名、合計81名が参加。8名ずつの10チームに分かれて、TZR 50の耐久レースやカヌー競技、綱引き大会、水泳メドレーリレーの4種目をチーム対抗で競い合いました。

競技の当日は、朝からあいにくの雨でしたが次第に回復、参加者全員が夕方まで思いきりスポーツ。爽快な汗を流し、夏の1日を楽しみました。また、その夜、親睦会を兼ねたパーティーも開かれ、プレゼント交換会



10チームに分かれ、45分、45分、50分の3ヒート制でTZR 50耐久レースがスタート



朝方の雨がウソのような好天に恵まれ、カヌーレースは大いに白熱

などで和気あいあい。ホテルのロビーでビデオ放映された自分たちの競技の模様を見ながら、夜遅くまで歓談する声が続えませんでした。

ひと足お先にひとつ飛び 『スーパーツーリング・オーストラリア』発進!

オーストラリアへJAL(日本航空)便で飛び、FJ1200やFZR1000でシドニー〜ブリスベン間約1000kmを走るダイナミックなツーリング企画「JAL YESSスベシャル・スーパーツーリング・オーストラリア」。いよいよ今秋からスタートした新しいプランですが、第1回に先がけて、マスコミ向け体験ツアーが9月2日から1週間の日程で開催されました。

オーストラリアは、日本人に違和なく走れる左側通行、制限速度100〜110km/hの快適な国道、タンデムでも走れる無料のハイウェイ、あるいは羊やカンガルーがそこかしこの街道筋で見られるなど、ライダーにとっては夢の大陸。ビッグバイクで大自然と触れ合えるツーリングに参加者は大感激。

「スケールが違う!」「日本ではちよつと味わえない高速クルージングが最高!」ビッグバイクを100%楽しめる!など、口ぐちに歓声をあげていました。

詳しいレポートは、主要二輪専門誌の10月発売号に掲載される予定です。



1000cc以上のビッグバイクで走るオーストラリアは、日本と違うスケールの大きさを実感



国境沿いのあちこちで、野生動物の姿を見ることが出来る

より安全、快適なスノーモビルの環境づくりをめざす『JSSA』発足



設立総会では、ヤマハの土井進 特機事業部長が副会長に

これから、今年もウィンターレジャー、スポーツのシーズンを迎えますが、その中で近年最も注目を集めているのがスノーモビルです。そのスポーツ性に富んだスピードと迫力

を生かしていることも事実。

そこで、ヤマハ発動機株式会社、富士重工業株式会社、鈴木自動車工業株式会社のスノーモビルメーカー、販売会社を中心となり、警察庁、運輸省、環境庁、通産省の関係各省庁、および助日本鋼業交通協会、全日本スキー安全対策協議会などの協力のもとで「日本スノーモビル安全普及協会」を設立。スノーモビルによる事故防止と自然環境の保護など啓蒙活動に、一丸となって取り組むことになりました。

9月11日には、東京・市ヶ谷でその設立総会を開催。数多くの関係者が出席して、盛大に活動の第一歩を踏み出しました。

広がるヤマハマリンワールド 『'91ヤマハ新艇発表会』で 10モデル18バリエーション登場



一般のお客さま向けには、今後、各販社ごとに各地で展示会が開かれる予定

ここ数年、余暇活用によるレジャーブームはますます活発化してきました。中でも、ウォータースポーツに對する関心の進んで、マリンスポーツに對

する人々の関心は高まる一方。ニーズもさらに多様化、個性化の傾向にあります。

ヤマハでは、それに対応し、'91年マリンスーツに向けて10モデル18バリエーションを発売。9月4日〜9月7日にわたり、静岡県・ヤマハマリーナ浜名湖で『'91ヤマハ新艇発表会』を開催しました。

対象は専門誌をはじめとするマスコミ、ヤマハマリンプラザ(特約店)ヤマハ直売店セールス、ヤマハマリンショップのみなさん。早くも'91シーズン、'91年商戦のスタートとあって、展示艇をあちこちのぞき込んだり、試乗をくり返すなどして、参加者全員、熱心に各モデルを確かめていました。

機動力を生かした広い行動半径は、スキーやスケートなどにはない魅力を秘めています。しかし一方で、ルールやマナーを無視したり、誤った使い方をしている人がいるために、弊害を生じていることも事実。

YES

いよいよクライマックス!!
グランドチャンピオン大会迫る

2月から全国8ブロック38会場のコースで展開されてきたミニバイクレースのシリーズ戦、『TECH 21 Y



ESS NO.1 CUP SERIES』もクライマックスが迫り、いよいよ11月10・11日の2日間、静岡県・つま恋国際カートコースでグランドチャンピオン大会が開催されます。

今シリーズ戦はYSR 50、TDR 50のMP-12クラスに加え、TZR 50、TZ 50によるMP-16クラスを新設。より幅広いお客さまの期待に応えるとともに、底辺層の拡大に努めてまいりました。その結果、規模も過去3年間で最大のシリーズ戦に成長しています。

このあと行なわれるグランドチャンピオン大会、みなさんのブロックから出場するライダーに、ぜひあたたいご声援をお願いします。

SERVICE

高い技術力と信頼を

『スターマーク』でアピール!

「YTSスター店」制度は、お店の持つ技術力や信頼性の高さを示す証しです。より多くのお客さまに安心してご来店していただくスター店認定店であることをアピールすることが大変重要になります。

そこでご利用いただきたいのが、「スターマーク」です。「YTS」ロゴマークのほか、「技術と信頼」「まごころサービス」といったスローガ

YTS
まごころサービス

※詳しくはヤマハ販売会社、特約店までお問合せください。

KART

16歳の高木虎之介選手が
全日本AIIクラスチャンピオン獲得!



ました。

高木選手は、往年の名ドライバー杉山茂雄さんのチームに所属、今年から全日本・西地域AIIクラスに出場しているホープです。若冠16歳ながら、ヤマハフレーム・RFIIのポテンシャルを100%引き出し、今シーズン、6戦中5戦にエントリーして全勝。7戦目となる東西最終戦を待たずにタイトルを決定しました。

また、FAクラスに出場している李好彦、樋口信之の両選手も、それぞれランキング4位と10位に入り、強いヤマハワークスへ順調なシーズンを終えました。

国内カートレース界の頂点、'90全日本カート競技選手権でヤマハのサポートドライバー高木虎之介選手が、AIIクラスチャンピオンとなり

10月12日、宮城県・SUGO国際カートコースで開催される、「第14回ジャパンカートグランプリ」にも、揃って出場する予定ですので、ぜひご声援をお願いします。

PARTS

密閉型MFバッテリーには
専用充電器をご使用ください!

最近、補水の必要のない密閉型メンテナンスフリー(MF)バッテリーが多く使われるようになりました。このタイプの店頭で行なう保守、点検の際には、安全で正確な作業を行

ない、性能をフルに発揮させるために専用機器が必要となっています。

ここでご紹介する「BC-152-12V」は、MFバッテリーの充電を



ンを、使いやすいステッカーにしました。鮮やかで目立ちやすいカラーとさまざまなサイズが揃っていますので、店頭や店内、クルマなどに幅広く利用できます。ユニフォームや作業服用にはアイロン・ステッカーもあります。



今年もトップライダーがズラリ

『TBCビッグロードレース』

いよいよ10月、'90ロードレースシーズンもクライマックスの時期を迎えました。

そんな中、SUGOでは、10月6・7日の2日間にわたり、この秋最大のビッグイベント「TBCビッグロードレース」を開催します。

全日本選手権第15戦となる今回は、国際A級500、250、TTFI、



技術と信頼
認定店

国内A級125、SP750の5クラスを行ないますが、注目されるのはTBCを含めてあと2戦しかない国際A級の各クラス。チャンピオン争いを占う上で重要なレースだけに大激戦が予想されます。

特に、500ccクラスには念願の8耐優勝を遂げた平忠彦選手やJ・コシンスキー、C・サロン、K・シユワソなど世界GPライダーのエントリーも予定されており、藤原儀彦選手、町井邦生選手らの全日本トップランカーがどう迎え撃つか、興味は尽きませぬ。ぜひ観戦にご来場ください。

観戦チケット

前売券 おとな／3700円

ペア券／7000円

当日券 おとな／4200円

小学生以下／1100円

※6日の予選は入場料のみ。パドックパスは6日／3000円、7日／5000円。

詳しくはスポーツランドSUGO (☎0224-831311)までおたずねください。

完全自動に行なえる専用充電器。操作もカンタンですから、どなたでもすぐに使いこなせます。

今なら、11月30日まで、充電器紹介キャンペーンを実施中。ぜひこの機会をお見逃しなくご利用ください。

※詳しくは、ヤマハ販売会社、特約店へお問い合わせください。



10月のヤマハ提供番組

(新番組)

■スポーツ熱中宣言

今年4月から始まった『スポーツジヨッキー 中畑クンと徳光クン』が、内容、タイトルを一新して再スタートした新番組です。キャスターは、おなじみの中畑清さんと徳光和夫さん。

これまでのスポーツ番組にないユニークな切り口で、さまざまなスポーツの話題を興味深く紹介します。

日本テレビ系全国ネット。放映日／毎週日曜日 放映時間／10時～10時55分。

■ONANKOJILL

海と陸、2つのフィールドを舞台に展開する素晴らしいヤマハワールドをスポーツマインドたつぷりにみなさまにお届けする話題性豊かな番組です。さまざまなカメラワークを駆使した美しい映像と、選び抜かれたBGMで、くつろぎのひとときをお楽しみください。

▼10月6日(マリン編)
第10回ヤマハカップ・小豆島オリ



↑王國ボードセイリング大会

▼10月13日(バイク編)

田沢弘道さんのバイクライフ

▼10月20日(バイク編)

長尾藤三ツッホイールフリーク

▼10月27日(マリン編)

鳥羽カップマッチレース①

※一部地域では放送日が異なります。テレビ北海道、テレビ東京、テレビ大阪、テレビ愛知、テレビせとうち／毎週土曜日18時30分から18時45分。静岡放送／毎週日曜日10時45分から11時。東日本放送／毎週土曜日23時30分から23時45分。テレビ新広島／毎週木曜日24時35分から24時50分。RKB毎日放送／毎週日曜日24時20分から24時35分。

■オリジナルコンサート

私たちの創った世界 世界各国で勢力的に活動を続けている(財)ヤマハ音楽振興会「ヤマハ音楽教室」。そこで育った世界の子どもたちによる自作自演コンサートの模様をお届けします。日曜の朝をすがすがしく彩る純粋な音楽の響きをゆつくりとお楽しみください。

テレビ朝日系全国12局ネット・放送日／毎週日曜日。放映時間／7時30分から8時。

●全日本モトクロス選手権シリーズ 川崎智之、今季初優勝! シリーズランキングもトップ



1年ぶりの美味しいシャンペン、を、少し照れくさそうに抜く川崎



8月19日、長野県コングランドで開催された第9戦終了時点で、ランキングトップに立った川崎智之。「ト

ップといっても、一回も勝っていないんだよ」と照れていましたが、続く第10戦、四国大会で、ようやく彼本来の力が結果に結びつきました。ヒート1、スタートで出遅れたものの、驚異の追い上げで6位入賞。続くヒート2、ラスト2周で2位に浮上した川崎は、トップを行く岡部を猛追、コーナーごとにその差を詰め、ラスト半周で遂にトップへ浮上。そのままチェッカーを受け、今季初優勝を飾りました。

「追いつけるとは思わなかった。とにかく嬉しいです。ランキング? それより残り3戦でどれだけ勝てるかなだね」

約1年ぶりの勝利に、目を赤くしながら大勢のファンの声援に応えた川崎。残り3戦、6ヒート。2位に7ポイント差のランキングトップです。



V3の実力がようやく発揮されてきた藤原。残り3戦にチャンプの意地をかける

●全日本ロードレース選手権シリーズ 藤原2連勝! ランキングも2位に浮上

スーパーバイク世界選手権と併催された国際A級500ccクラス。先日の富士大会で今季初優勝し、長いトンネルからようやく抜け出した藤原儀彦がSUGOでも完勝。2連勝を達成しました。

ウェット路面が残る、タイヤ選択のむずかしいコンディションでのレースでしたが、3周目にトップに浮上した藤原は伊藤とのトップ争いの末、5秒もの大差をつけてチェッカー

を受けました。

「喜しいですね。調子も上がってきたし、残り3戦に全力を尽くします」

ランキングトップとの差は20ポイント以上ありますが、逆転可能な範囲内。V4に向けてのご声援をよろしくお願いします。

また今年から同クラスにエントリーしている大石敬二も3位入賞を果たしました。

二輪車事故が減少傾向へ！ 10月以降の指導強化がカギ



暑い夏が過ぎ、そろそろ風も涼しさを増してきました。秋のレジャーシーズンの到来です。

もみじ狩りなどに出かける人たちで、郊外の観光地は再び賑わいを見せるとともに、行き帰りの道路もかなり混雑してくるでしょう。くれぐれも安全運転に気を配ってほしいものです。

このほど、警察庁交通局で「平成2年上半期交通事故発生状況」がまとめられました。それによると、今年1月から6月までの半年間で発生した交通事故の件数は29万5652件。負傷者数36万3270名、死亡者数5119名となっています。

昨年と同時期と比べると件数、負傷者数はおよそ5%強の減少で、ここ数年の事故増加傾向によりやく歯止めがかかり始めたといえそうです。ただ残念ながら、そのうち死亡者数だけは昨年をやや上回っており、依然として楽観は許されないとこころです。

しかし、二輪車だけの数字をみると、昨年あたりから事故が減り始め、今年上半年でもその傾向ははっきり現われています。例えば、自動二輪



原付による事故死者数は、それぞれ6月までで629名(32名減)と435名(9名減)。特に、スピードの出しすぎや乱暴な運転が取り沙汰されていた若年層(16歳〜24歳)の減少が目立っています。

9月下旬から月末にかけては、秋の全国交通安全運動や、二輪車安全運転推進月間運動などが行なわれましたが、安全運転意識を高める活動はこれからのレジャーシーズンこそ必要といえます。特に10月は、昨年最も事故の多かった月。ぜひ、継続的にアピールし続けてほしいものです。

静かにやさしく、いい運転。

- やめよう、マフラーの不正改造!
- いつでもどこでも、絶対しない空ぶかし!



見る・見られる・いい運転。

- バイクは昼間もライトオン!
- カーブ・交差点では、スローイングダウン!

B'Harmony

人とバイクの友好生活

ハードとソフト バイクライフをフルサポートできる店づくり

YSP高知/新田光浩店長

高知県高知市大津乙1157 ☎0888-66-0013

十分なオープンスペースを持つ店舗だが、新車の展示はショールーム内のみ

レプリカの展示はタイムリーな話題を上手に利用



新店長を中心に、用品担当の長谷川さん(左)と、部品担当の鎌倉さん

欲しいモノは自分の目で確かめて、その場で購入したい。そんなユーザーの希望に応える品揃えと、効率的な見やすい展示方法で、20代の若者の人気を集める「YSP高知」さんをご紹介します。



タイプごとに並べてある、見やすいヘルメットコーナー



欲しいモノを確かめるための ショールーム

「いくらカタログで購入する機種を検討しても、最後には自分自身で、実際に触れて確かめたいものだと思うんです。うちの客層である10代〜20代前半のヤング層は、特にその傾向が強いようです。ヤマハのオートバイを見に来店してくれたのだから、こちらもその要望に応えられるよう、オートバイ本体の展示数は多目に、人気機種はカラーも揃えるように心掛けています」

新田店長がそう話すように、「YSP高知」さんのショールームには、スポーツ車だけでも20台以上のモデルが、ひと目で分るようにとジャンル別に、整然と展示されています。同店でも人気の高いTZR250、FZR250R/400RRなどは、入口付近のショーウィンド脇の、人目につきやすい場所に展示する工夫も忘れていません。

高知市と南国市を結ぶ大津バイパス沿いに店舗を構える「YSP高知」さんは、敷地面積250坪、店舗の面積だけでも100坪という大型店。その広さを十分に利用しての展示ですが、「欲ばれもつとショールーム内に入るので、詰め込みすぎでは倉庫のようになってしまいますから……」その言葉どおり、バイクとバイクの間隔は、来店者がバイクにまたがるのに十分なスペースがとられています。

1店で、 全てを任せられる店づくり

「実際に手で触れて確かめてもらう」という考え方は、充実した用品コーナーにもうかがえます。広い店舗の約4割のスペースが用品にあてられています。

充実の用品コーナー

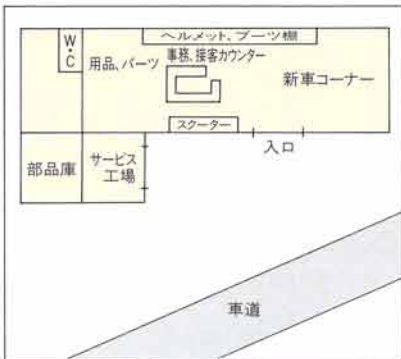


陳列だけでなく、本体と用品で“世界”を提案する

ソフトの広がり想像させるマリングッズ

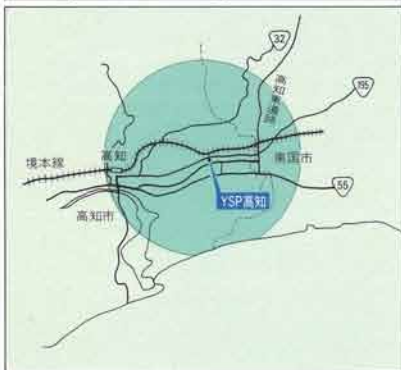


広いからといって、必要以上に詰め込まない。天井の高さもあって、ゆったりとバイクに触れることができる



〈お店のデータ〉

- オープン：'85年3月
- 店舗規模：敷地面積250坪、店舗面積100坪、サービス工場15坪、倉庫35坪
- 展示台数：ショールーム内に60-70台（全て新車）中古車は屋外に展示
- 立地：高知市と南国市を結ぶ大津バイパス沿い。高知市の東部
- 商圏：スクーター半径約5km、スポーツは約6km。東側は隣りの南国市におよぶ
- 客層：20代のヤング中心
- YESS：約40名
- クラブ：月2回のツーリング
- 告知活動：ラジオ、DM
- 営業：午前9時～午後7時半まで 毎週水曜定休
- スタッフ：4名（店長、部品、用品、サービス担当各1名）



「人気の薄い商品も、しっかりと展示し、そんなものも置いてある」と思わせるんです。人気商品の近くに置いて、より一層さわだたせるといふ効果も狙えますから」とつけ加えてくれたのは、オープン以来、用品を担当する長谷川さん。

また「バイクのことなら「YSP高知」でOK」の意の中にソフトやアフターサービスの提供も必要と考える新田店長。人気上昇しつつあるレーシングカートやマリングッズの展示などで、バイクライフの広がり提案。言葉どうりのトータルショップ作りを目指しています。

「人気商品はもちろん人目のつきやすい場所に、カラーを揃えて展示しますが、それだけでは、用品も揃っている店」という印象は持ってもらえないようです。

人気の薄い商品も、しっかりと展示し、そんなものも置いてある」と思わせるんです。人気商品の近くに置いて、より一層さわだたせるといふ効果も狙えますから」とつけ加えてくれたのは、オープン以来、用品を担当する長谷川さん。

商品の数、種類は用品専門店顔負けです。「本体も用品も、バイクのことなら「YSP高知」でOK」と言われるように、用品コーナーの充実にも力をいれていきます」と新田店長。ヘルメットとブーツはその数の豊富さをアピールするため、ショールームに入った正面の壁一面に展示されています。

あかるいスポーツ宣言
YAMAHA MOTORCYCLE

新たなる、YZ旋風。

チャンピオンに、挑戦の時はない！
勝利の女神に導かれたその瞬間から、さらなる進歩力を帯びてゆく必要があるから。
新たなる勝利のために、ニューYZ旋風の登場。YZ250へのセパレートフロント、110mmスリッターの
新採用をはじめ、空-空冷却系の最適化など、さらに進歩力を高めるべく、ニューYZ旋風のアドバンス
スイクアルームを新採用した、ワークスマンに最適するファイブドランク。
50ccにアシストリフトを新設するなど、細部まで進化。勝利はニューカーリングは、
新たなる力を帯びた、王者の姿が輝く。



成熟のプロパフォーマンス
YZ250/125



※本誌に掲載の情報は、掲載当時の最新情報に基づいて記載しております。また、本誌に掲載の情報は、掲載当時の最新情報に基づいて記載しております。また、本誌に掲載の情報は、掲載当時の最新情報に基づいて記載しております。

雑誌「バイクフォーラム」
人とバイクの友好生活
8月19日はバイクの日

YESS スポーツバイクライフを、大きく広げるイベントです。



- 全日本モトクロス選手権で華々しいデビュー&ウィンを飾り、そのポテンシャルの高さを証明した'91 YZシリーズの二輪専門誌広告です。
- 圧倒的なパワーと卓越の操縦性を両立させ、真にチャンピオンを狙えるマシンとしてさらなる進化を遂げた'91 YZ。成熟したプロパフォーマンスが、まさに「新たなる、YZ旋風。」を巻き起こします。

ヤマハニュース10月号号●1990年10月1日発行●発行所：ヤマハ発動機株式会社 〒43 静岡県磐田市新貝2500 電話0538(32)1150(ダイヤルイン)●発行人：小宮 功